

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容を P R!!!

- サービス向上への 3 ステップ -
 “ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームとらや

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

高次 真理

評価完了日

平成 19 年 5 月 6 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501511		
法人名	(株) えひめメディコープ		
事業所名	グループホームとらや		
所在地	新居浜市若水町2丁目7-4 (電話) (0897)31-3203		
管理者	高次 真理		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年5月15日	評価確定日	平成19年6月7日

【情報提供票より】 (平成19年5月1日 事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年8月17日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	5人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年5月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.4 歳	最低 76 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

築60年の旅館を改装し開設されている事業所で、柱や窓、障子や洗面所等当時のままを残したしつらえであり、そのような環境の中で暮らすことが利用者の落ち着いた生活につながっている。
 内部・外部研修を受講し、また、職員会議もケアのこと、業務のことで月に2回行い、職員間の意思統一を図っておられる。
 ある程度自立した方が入居対象となっており、それぞれに居室を掃除されたり、家事や編み物等の趣味のこともされていた。
 職員は、日々利用者からの学びが多くあると話されており、礼儀や周りへの気遣い方、昔の慣わし等も日々教わりながら支援をされていた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、職員は、昼食後の口腔ケアの声かけを行うようになり、現在では、歯みがきが習慣となっている方もいる。また、歯科医師受診や口腔内チェック等もされている。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・今回の自己評価は、管理者が日々を振り返りながら作成し、その後、職員が内容を確認された。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・運営推進会議では、活動の報告や事例の報告をされている。地域の方から他の事業所の見学をしてみたいというような意見も出ており、検討をされている。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・ご家族からは「感謝している」との声が多く、現在、ご家族は、事業所に安心して任せておられる様子である。ご家族から、「玄関の出入りがわかるようにモニターを付けてはどうだろうか。」という意見が出たため、さらなる利用者安全のためにモニターを設置された。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・ご近所の方達とは、散歩や買い物時にあいさつを交わり、顔見知りになっている。地域の方が、体操やおやつ作り等のボランティアに来てくれるようになっている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			いつまでも楽しく暮らせるようにをモットーに、理念を考えている。		スタッフが覚えやすく簡潔な言葉で再度理念を見直す方向
			(外部評価)		
			事業所は、地域へ出かけたり、自治体とかかわりを持つよう取り組んでおられるが、現在は、利用者の安心、安全に向けた支援が主体の理念となっている。		今後、覚えやすい理念となるよう職員で話し合うことを計画されている。そのような機会に、地域の中の事業所として、どのようなことを目指していくのかということについても話し合われてみてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			念頭に置き日々介護に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			理念を玄関や居間に掲示して、職員で意識統一を図っておられる。管理者は、職員とケアを共に行ないながら理念に基づき話をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議・家族会等で、グループホームの様子等を説明し、日常背活を理解して貰っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 昨年より地域の役員として、役員会へも参加している。また、毎日の買い物等必ず挨拶をするよう心掛けている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 役員会、運営推進会議等で、地域の行事を把握し、参加するようにしている。 (外部評価) ご近所の方達とは、散歩や買い物時にあいさつを交わし、顔見知りになっている。地域の方が、体操やおやつ作り等のボランティアに来てくれるようになってきている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 話し合いはすることもあるが、取り組みまでには至っていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 怠っている所等振り返り、改善に勤めるように心掛けている。 (外部評価) 今回の自己評価は、管理者が日々を振り返りながら作成し、その後、職員が内容を確認された。前回の評価結果を受けて、職員は、昼食後の口腔ケアの声かけを行うようになり、現在では、歯みがきが習慣となっている方もいる。また、歯科医師受診や口腔内チェック等もされている。		管理者は、利用者個々のアセスメントの作成に取り組むたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			行っている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、活動の報告や事例の報告をされて いる。地域の方から他の事業所の見学をしてみたいと いうような意見も出ており検討をされている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			担当者へは書類等の関係等、グループホームに関する 事は気軽に話せる関係を持っている。		
			(外部評価)		
			地域のお年寄りの生活のことについて市へ相談されて いる。運営推進会議では、介護保険のことについて話 してくださった。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修会への参加を行い、制度に関する知識を養い、家 族会等で、家族へは知らせている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			県からの資料等参考にスタッフでの学習を行っている。 。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を設置、各家族には郵送できる用紙を渡してある。また、2ヶ月に1回利用者家族も参加している、施設利用委員会を設置し、改善に努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 月1回、請求書・領収書とともに、各会議報告や近況での写真を送っている。また、定期受診をお願いしているので、訪問時にはそれぞれに報告を行っている。		
			(外部評価) 毎月、利用者個別の支援の様子について細かく記載してご家族に送付されている。また、行事の様子や職員の紹介等を載せた「とらちゃん通信」を年に4回発行し、ご家族に送付しておられる。		今後、「とらちゃん通信」の内容について、日々の暮らしの様子や事業所での取り組み内容についてもご家族に伝えていきたいと検討されていた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約書に明記し、また、苦情処理委員会として、2ヶ月に1回施設利用委員会を設けている。		
			(外部評価) ご家族からは「感謝している」との声が多く、現在、ご家族は、事業所に安心して任せておられる様子である。ご家族から、「玄関の出入りがわかるようにモニターを付けてはどうだろうか。」という意見が出たため、さらなる利用者安全のためにモニターを設置された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回部会を設け(基本的には夜勤者以外全員参加)意見を反映している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 部会において、行事計画が話され、必要な人員の確保をするよう努力している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 出来る限り、同じ職員がはたらき続けられるよう、面接を行い、各スタッフの要望を聞き、反映するようにしているが、力量不足もあり、定着できていない。		
			(外部評価) 管理者は、職員の悩み等相談に乗っておられ、職員の思いをケアに活かすことができるよう努めておられた。開所当初からの職員も数人おられ、利用者との関係性も築かれていた。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 知識、技術を高めるため、各研修参加を全スタッフに取り組みできた。計画的な育成にはなっていない。		リーダーを中心に計画書を作成する方向
			(外部評価) 事業所内での学習会や外部での研修等をすべての職員が受講されており、研修受講後は報告書を作成されている。フットケアなど研修で得たことを日々のケアの中で活かしておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			出来る限り、他グループホームでの交流等への参加は行っている。		
			(外部評価)		
			相互評価時に地域の他の事業所や職員の方と交流され、互いの事業所の質向上に向けて取り組まれた。また、管理者は他の事業所の方とのネットワークを築いておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な面接を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職場目標に基づいて、各スタッフの目標を設定し、半期毎に目標に関しての面接、評価を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			スタッフより様子を聞いた時は、個別に面談するように努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努力している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) その人の現状を考えた計画とし、みんなで早く馴染めるようにかかわるようにしている。		
			(外部評価) 利用者やご家族とゆっくりお話をされて、納得の上での入居となっている。そのような方の帰宅願望はあまりないようである。事業所の造りやしつらえ等についても、自宅とあまり変わらないことも利用者の落ち着いた生活につながっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 行うようスタッフ全員で取り組んでいる。		
			(外部評価) 職員は、利用者から礼儀や気遣い、調理のことや慣わし等を学ばれている。時に、職員に対して労いの言葉をかけてもらうこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 努力している。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時間等に制限することなく、いつでもかかわれるようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人のこれまで住んできた所へいつでも行けるようにと考えているが、まだ取り組めていない。		担当者とともに、個人の故郷へ行ってみよう検討中
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 勤めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 努力している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
				本人の希望は聞くようにしている。	
			(外部評価)		
					現在は、利用者から食事や生活への要望や希望は、あまり出ないようである。職員は、日々の関わりの中から探り、ケアにつなげるよう取り組まれている。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
				各個人のマイプランを参考に介護に勤めようとしているが、マイプランを埋めるまでには至っていない。	今年度は、それぞれにマイプランを埋める計画とする。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
				日々の健康チェックを行い、また、様子を見ながら介護に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
				過去の生い立ち等を参考にしながら、状況にあった介護をすべてのスタッフの意見をもとに検討している。	
			(外部評価)		
					現在、利用者個々の生活歴や情報を収集途中である。
					マイプランを作成することで利用者個々の情報を集めることをすすめていかれる予定である。さらに、利用者にかかわる人たちの意見やアイデアが計画に反映されるような取り組みなども期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			状況に応じ対応している。しかし、新たな計画書としては対応しきれていない。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しとなっており、毎月のケア会議時にそれぞれに評価を行なっている。入居間もない方や退院したような場合には、1ヶ月に一回の見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			カルテへの記入を行い、出来るだけ、その場面でのスタッフの判断も記入して貰っている。また、月1回の介護計画検討に生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			その場面、場面に応じ、柔軟に対応するようにしている。		
			(外部評価)		
			病院受診時、基本的にはご家族の同行となっているが、ご家族の都合の悪いような時には職員が同行されている。また、希望に応じて美容室や買い物等にも職員が送り迎えや同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 特に行っていない。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特にしていない。地域での行事等は情報をもらい、参加するようにしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特に地域包括センターと協働はしていない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的カンファレンスとともに、基本家族が定期受診を行って貰うようにし、近況情報を伝えまた、伝えて貰うようにしている。 (外部評価) 入居時に相談し、現在は、母体病院での受診がほとんどであり、常に医師や看護師と連携を図っておられる。また、希望のかかりつけ医のある方には、受診時職員が同行して関係を築いておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医を主事医にすることを基本に勤めている。また、定期的にカンファレンスをするにより状態の認識をお互い行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 近くの連携医療機関や、訪問看護ステーションの看護師等と連携をとり、検討するようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時、訪問し、利用者様の状態把握を行い、カンファレンスに参加し、利用者様にとってよりいい方法を考え、退院に努めるようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族会、計画説明時等絶えず確認をとりこれからの方向性を確認している。 (外部評価) 入居時に、重度化したときのことについては、説明をされている。身体機能レベルが低下したような場合（寝たきり状態）は、ご本人の状態に応じた施設に入所できるよう手続きをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) その人にあった介護を考え、医療が必要な時はカンファレンス等を行い、訪問看護ステーションや医療と連携を取っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者間にて、十分な情報交換を行い行うようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>場面場面に応じた、声かけを心掛けている。また、記録はカルテに集中し、一定場所に保管している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>とらちゃん通信等の写真掲載については、ご家族等に許可を得ている。また、介護計画等、文書についても個々の尊厳を守った文書となるよう心がけておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その場面場面に応じ、入居者様が何故そのような動作を行ったかを考え、対応するようにしている。また、その事を記録に書くように努力しているがなかなか十分には欠けていない。</p>		<p>介護計画検討会で、意思統一するようにしている。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>なるべく本人の希望を聞きながら行動を共にするように心掛けているが、まだまだその人の希望を引き出すに至っていない。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、早出・日勤・遅出で業務が分担されており、時にそのことを優先してしまうようなこともある。</p>		<p>本来のその人らしい暮らしづくりを探り、事業所でも継続できるような個別の支援が期待される。さらなる職員のチームワークで利用者個々の生活を支えていけることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出来るだけ本人まかせにしてるが、出来ない人に関しては、こちらが勤めている。散髪に関しては本人の希望を取り入れている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できるだけ利用者様の好みに合ったものを取り入れるメニューを考えている。また、下ごしらえや盛り付け、かたづけと手伝って貰うようにしている。 (外部評価) 朝食は、利用者個々でパン・ご飯等好みのものを決めておられる。ご自分で巻きながら食べる手巻き寿司をされたり、職員は、メニューも重ならないよう考えておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お茶の時間は、できるだけ本人の希望を取り入れている。しかし、アルコール依存症の入居者がいるため、アルコールの対応は控えている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者様の能力を考え、なるべく日中は布パンツとし、本人が自分で出来るようにしている。夜間は、心地よい睡眠が出来るようにその人にあった方法（夜間パット使用やポータブルトイレ利用）を取り入れている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			基本的に入浴は午後としているが、すべての人に声を掛け、入浴を促している。また、月別入浴チェック表を元に、また、その日の状態を参考にしながら入浴計画を立てている。		
			(外部評価)		
			現在は、特に利用者からの入浴の希望はなく、入浴を嫌がるような方もおられない。訪問調査時、入浴剤を入れて足浴を楽しまれている方もおられた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			なるべくその人にあった時間で起床できるようにしている。また、日中ウトウトしていたりしていたり、状態に応じて、休息するよう声かけするようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			各個々人の特異性を考え、日常生活の中で声かけし、手伝って貰っている。また、スタッフのなかで、気づきがあれば介護計画検討会の中で意思統一をし、利用者へ同様に働きかけるようにしている。		
			(外部評価)		
			利用者は個々に居室の掃除をされている。日当たりの良い場所で編み物をされている方や職員が連れて来られる犬と遊んでおられる方もいた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望により、小遣いを所持して貰っている。大本は施設長が管理をし、不定期に足してあげている人もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日、その時の状態、要望に合わせ、体制を取り外出を出来るようにしている。また、声かけをしている。		
			(外部評価)		
			職員が利用者に外出を促すような声かけをされている。散歩や近くのスーパーへ買い物に出かけたり、歩いて歯科に通われている方もいる。		今年目標として、「個人の故郷へ行ってみる」ことを検討中である。また、近々東予市休暇村へご家族等と1泊2日の旅行をされることとなっている。そのようなことから利用者の可能性を見出し、支援につなげていかれることが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節等にあったお出かけをほぼ月1回は企画し、それ以外でもそれぞれの要望を取り入れ、買い物などの対応をしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話はホームに1台しかないが、ワイヤレスで、いつでも対応できるようにしている。(手紙も同様)		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			特に面会時間の指定はしていず、いつでも笑顔で迎えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束についての学習を行い、すべてのスタッフへの認識の一致はできている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的には日中施錠はしない。ただし、玄関の出入りの確認は必要なので、利用者様、またその家族の理解を求めた上で、センサーをつけて、その都度確認している。 (外部評価) 家族からの要望があり、モニターを設置し、利用者の玄関の出入りを察知できるようにされている。また、居室や2階の廊下にセンサーが設置されており、利用者の行動はいち早く職員に分かるようになっている。		玄関までがとおく、スタッフの負担が大きいため、家族会の要望もあり、玄関にモニターを付けるようにした。 さらに、利用者の自由な暮らしを支援していくために支援の工夫を重ねていかれることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 絶えず、利用者の居場所は確認をし、夜間、ふらつきのある利用者様に対しては、センサーマットを利用し、そっと様子をうかがうようになっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) カーテンをしたり、タンスにしまったりの工夫をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 定期的には取り組めていない。		定期的な部会の学習に取り入れていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変時対応マニュアルを作成している。		定期的な部会の学習に取り入れていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 半年に1回は避難訓練を行い、誘導方法を確認している。(マニュアルを作成)また、運営推進会議でも確認している。近くの協力医院へも確認している。 (外部評価) 利用者の方達も一緒にハンカチで鼻口を押さえて、避難するような避難訓練を行っている。		運営推進会議では、協力いただけるようお話をされているが、いざという時にいち早く駆けつけていただけるような近所の方にも協力をお願いすることを検討されている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 介護計画説明時にはその時の状態等を説明し、こちらの対応を家族に理解して貰っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日健康チェックを行い、また、それぞれの症状についての変化は必ず看護師に報告して判断をするようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) カルテに必ず、薬剤情報を挟み、みんながすぐ確認できるようにしている。看護師も必ずチェックしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 月別チェック表を元に、便秘や下痢のチェックを行っている。それに基づき、食事の工夫や下剤の投与をおこなっている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯磨きの声かけをしている。また、昼食後は各入居者様について、確認をしようとしている。半年に1回、協力歯科医院による口腔チェックをしてもらっている。		徹底できていないことがあるため、部会等で、呼びかける。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士さんの講義や、病院の老人食を勉強したうえで、入居者様の好みを取り入れたメニューを立てている。月1回の体重チェック、糖尿病検査結果等考え、量を工夫している。半年に1回程度栄養士さんにメニューのチェックをもらっている。		
			(外部評価) 利用者がいつでもお茶を飲むことができるようサンルームにオーナージャグが用意されていた。また、テーブルの上にも自由に飲めるよう急須を置いておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 早出勤務者が主に清掃業務を担当しているが、トイレはハイター清拭をし、掃除が終了すれば、エプロンを交換している。 感染マニュアルを作ってる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の買い物で、新鮮な内に使用できるよう心掛けている。(賞味期限の管理)</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花や、季節の飾り物を置いたりしている。また、玄関には、靴の着脱がしやすいよう手すりを設置している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先や洗面所には、季節の花を飾るようにしている。また、ローカの壁には、絵画を飾ったり最近の行事の様子を写した写真を飾っている。ウッドデッキでは、透明なナイロンをはって、風邪よけをしたり、日光を取り入れ、日向ぼっこができるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所内のしつらえは、元の旅館の造りをそのままに活かしており、床や柱、洗面所等60年前の年代を感じさせるものであった。</p>		<p>ローカの一部は改装により遮光されており、常時電灯をつけている。</p> <p>ウッドデッキのナイロンが簡易のため、風に飛ばされやすく、将来的にはサッシ等検討している。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ウッドデッキに、ソファを置き、好きなときに座ったりできるようにしている。また、自室にもテレビは置いているが、狭い食堂のテーブルに寄り添って同じ番組を見たりしている。</p>		<p>さらに、音や室温等の環境面では、食事時の音楽のことやサンルームの室温等について、この機会に利用者の立場に立って話し合ってみられてはどうだろうか。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) できるだけ、以前使っていたものを持ってきてもらうようには呼びかけているが、新しく買ってきたものが多い。 (外部評価) それぞれに個性のあるしつらえとなっており、間取りそれぞれに違いがある。お好きな花や装飾をされている方や演歌歌手のポスターを貼っておられたり、外出時の楽しい写真を飾っておられる方もいた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 各部屋にクーラーを設置し、室内の温度調整は管理している。しかし、ローカには調節機能がなく、また旧家改装なので隙間風が入り、冬は寒く、夏は暑い。カーテンで調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 歩行状態を考慮して、2階入居者を決定している。また、1階入居者様においては、歩行状態を考慮し、車椅子、歩行器、杖等を利用してもらっている。常に、見守り、気配りは怠らないように気をつけている。自室にてふらつき転倒が考えられる場合は、センサーマットを利用し、気かけられるようにしている。		2階の入居者様が骨折等で乗降出来なくなる事が予想されるので、乗降機を検討している。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) それぞれの能力に応じて、朝の掃除（掃除機がけや雑巾がけ）を手伝ってもらったり、洗濯物をたたんでもらったり、調理の下ごしらえ等の手伝いをしてもらったりしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 中庭に面して、ウッドデッキをつけ、ソファを置きいつでも気軽に日向ぼっこができるようにしている。また、洗濯機があり、皆で干したり、調理の手伝いをしたりしている。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	毎月の介護計画検討会への参加状況、意見等。また、普段の摂氏からより判断した。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ゆっくり話しをするようには心がけては折るが、まだまだ業務に追われているように思われる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体制上の関係で、利用者が望んだときにすぐに対応できてはいない。声掛けをして、なるべく対応出来る様にはしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護師による日常の声掛けや説明により、利用者様からは安心との声がきかれています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問時、家族会等での対応では安心しているとの声が返ってくる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	裏の畑の世話にボランティアさんの訪問がある。また、地域の人達を招いての班会が2ヶ月に1回催されている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ②) ② ③ ④ 評価) ③ ④ ⑤ ⑥ 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ③) ④ ⑤ ⑥ 評価) ③ ④ ⑤ ⑥ 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフ同士の横のつながりがなかなか取り辛く、不満の声となっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ②) ③ ④ ⑤ ⑥ 評価) ② ③ ④ ⑤ ⑥ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	好きなときにすぐに外出ができない等によりそう思われているのではないかと思 う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ①) ② ③ ④ ⑤ ⑥ 評価) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

より家庭らしく日常生活を送ってもらうような関わりを持つよう心がけています。そのため、ホーム全体にあかるい雰囲気があると思っています。また、今回たまには遠出して温泉にゆっくり入り、美味しいものを食べたいのではとの考えで、試験的に1泊旅行をこの5月26・27日に実施することになりました。